

切 な 支 援 の 提 供	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0	●よく知らない	●季節感が感じられるように企画を行い、前回のプログラムの反省から常に新しいバージョンアップを図った取り組みを行うように進めている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7	2	1		●青少年センターの活動として、毎月第三土曜日に『英語で歌おう』と題した活動をゴスペルシンガーの講師を招いて、当法人が主催して地域の小中学生に案内して、一緒に活動する機会を設けている。 ●長期休暇時などの休校時に地域行事への参加等を行い障がいのない子どもと接する機会を設けていきたい。
保 護 者 へ	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		●利用前に面談を行い、契約前に重要事項説明書を用い説明をしている。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0		●ご利用いただいたときの送迎時や来所、降所時に児童の状況や課題について話すようにしている。また連絡帳や電話などを利用し、児童から伝えることが難しいと判断される内容等のフォローは必ず行うようにしている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	0	1		●利用児童、保護者により面談の頻度は変わるが、定期的に行っている。 ●より専門的な助言を行えるよう、法人内専門職との連携及び、外部研修への参加促し等行う。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	0	1		●年に一度、保護者参加型の法人全体での保護者会「こころ夏祭り」を行い、児童の活動の様子などをスライドショーで紹介するなど、保護者の顔が見える形で連携支援する機会を作っている。保護者会、また季節行事など保護者参加型の行事や研修を企画している。

の 説 明 等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所責任者だけではなく、法人内に苦情対応窓口を設置している。 ●より迅速に対応することができるよう、職員全員にスマートフォンを配布し、タイムラグをなくすよう努めている。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●登園時、降園時に、児童から伝えることが現段階では難しいと考えられる事項を伝えるようにしている。 ●また連絡帳等で伝えることができなかった事などは降園後でも電話等で行っている。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●当法人ではホームページの他にFacebookでの情報発信、月ごとの広報誌の発行も行っています。 ●ホームページやこころ通信からFacebookへのアクセスが可能ですので是非ご覧ください。
	14	個人情報に十分注意しているか	12	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●法人内でSNS等に掲載する場合、もしくは広報誌等で写真を載せる場合には個人が特定されないようマーク等を用い加工している。 ●また職員に対しても、法人内でスマートフォンの使用方法、児童への指導方法についての研修を行っています。を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●何かあったらここから逃げるように教えてもらっていないらしいです ●定期的に説明がある方が良い <ul style="list-style-type: none"> ●緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルを策定し職員研修や一部保護者に説明を行っている。 ●月1回の避難訓練の実施、年1回の消防署に在所頂き、総合避難訓練の実施を行っている。曜日固定で利用されている方も含めすべての児童が年に1回は参加できるよう年間予定の工夫する。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●利用日が少ないのでその日に合わない <ul style="list-style-type: none"> ●月に一回、必ず避難経路を確認するため子どもたちと避難訓練を行っている。また年に一回、使用施設全体で避難訓練を行っている。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	3	0	0	●続けて、楽しく通える環境を維持していきたいと考えている。
	18	事業所の支援に満足しているか	13	1	0	0	●今後も、お子様の状況に合わせた対応を心掛けサポートさせていただきたいと考えています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。